

平成27年度 行政評価 施策カルテ

施策名	2 道路ネットワークの充実
-----	---------------

施策主管課	土木管理課	総合計画記載頁	154ページ
-------	-------	---------	--------

1 施策の位置付け

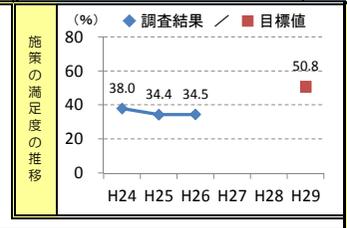
政策の柱	V 都市のさまざまな活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために	政策名 (基本施策名)	22 円滑で利便性の高い総合的な交通体系を確立する	政策の達成目標 (基本施策目標)	総合的な交通体系の構築により、公共交通や自動車、自転車などのあらゆる交通手段が相互に連携した、円滑で利便性が高く、安全で、ひとや環境にもやさしい、誰もが利用しやすい交通環境がつけられています。
------	----------------------------------	----------------	---------------------------	---------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------

2 施策の取組状況

施策目標	円滑で機能的な道路ネットワークが構築されています。
------	---------------------------

① 施策指標	指標名(単位)								評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)								評価		
	H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	H24 (現状値)	H25			H26	H27	H28	H29							
指標1	都市計画道路の整備率(%)		単年度目標値	67.5	70.7	71.6	72.9	72.9	73.1	A	施策の満足度(%)		調査結果	38.0%	34.4%	34.5%					B
	現状値	67.5%	実績値	68.9	69.1	69.5					目標値(H29)	50.8%	前年度からの増減		-3.6%	0.1%					
	目標値(H29)	73.1%	単年度の達成度	102.1%	97.7%	97.1%															
① 施策指標			単年度目標値							【参考】中核市等との水準比較	③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)										B
			実績値								都市計画道路整備率(%)		中核市平均	61.9	64.5	65.8					
			目標値(H29)									実績値	67.5	67.5	68.9						
			単年度の達成度									中核市での本市の順位	17位/41市中	19位/41市中	18位/42市中						
			実績値									中核市平均									
			目標値(H29)									実績値									

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について		
★ 通増型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$	
★ 通減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$	



※ 評価の考え方	① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
	② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上 (+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準 (±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下 (-5pt超) [15点]
	③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上 (主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり (主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ (主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調: (A評価が2つ以上 (C評価がある場合を除く。)) [90点以上]		概ね順調: (主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている: (C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況			
---------------------	--	--	--

施策を取り巻く環境等	・国において、老朽化する道路ストックを適切に維持管理できるよう、安全性の調査・総点検、老朽化対策の実施や道路の防災・減災対策など、インフラ再構築による有効活用や既存道路ネットワークの強化を図っている。また、幹線道路等の整備を中心とした都市・地域基盤整備を推進している。	市民満足度	・道路ネットワークについては、各計画に基づき整備されていることから、市民へのPRIについて工夫するなど、満足度の向上に努めていく。	総合評価	83点
施策指標	・都市計画道路の整備は路線の重点化を図りながら、計画的に進めており、平成26年度の状況は、一部用地取得が難航し、単年度目標値を下回る実績となったが、概ね計画どおりに進捗している。				概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象、★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(最大5事業選択)

No.	事業名	戦略P・ 主要事業 ※	事業が属する総合計画の 構成事業名	事業内容		事業の 進捗状況	H26 事業費 (千円)	開始年度	日本一 施策 事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	都市計画道路整備事業	○★	幹線道路の整備	市民・道路利用者	道路築造・改良整備	計画どおり	392,825	-		ネットワーク型コンパクトシティの形成に向け、都市計画道路整備事業については、都市・地域間の道路交通機能の充実や、都市防災機能の向上を図るため、優先順位を定め、国庫補助金の導入など財源確保に努め、事業を実施していく。 事業用地については、地域住民などの理解・協力を得ながら、用地確保に努めていく。
2	幹線市道整備事業	○★	幹線道路の整備	市民・道路利用者	道路築造・改良整備	計画どおり	637,754	-		道路ネットワークの充実に向け、地域間道路の円滑化や利便性の向上を図るため、国庫補助金の導入など財源確保に努め、事業を実施していく。 事業用地については、地域住民などの理解・協力を得ながら、用地確保に努めていく。
3	プロジェクト関連整備事業		幹線道路の整備 生活道路の整備	市民・道路利用者	道路築造・改良整備	計画どおり	334,018	-		雀宮駅西口整備などの公共施設整備に係る計画と一体的に実施することで、交通結節点におけるアクセシビリティ向上など大きな効果を発現するため、事業を実施していく。 また、利便性の向上や交通の円滑化を図るため、新たなスマートインターチェンジや総合スポーツゾーン周辺道路整備など事業を実施していく。
4	右折レーン設置事業		交差点・踏切改良の整備	市民・道路利用者	道路築造・改良整備	計画どおり	75,852	-		右折レーン設置にあたっては、交差点の円滑な交通環境を確保する事業として有効であることから、周辺交通の渋滞状況を考慮しながら優先順位を定め、計画的に実施していく。 今後も、交通管理者や道路管理者などの意見も踏まえ、交差点における円滑な道路環境の確保に向け、事業を実施していく。
5	橋りょう維持修繕事業	○★	橋りょうの長寿命化・耐震化の推進	市民、道路利用者	橋りょうの耐震・維持修繕	計画どおり	241,660	H13		橋りょうの耐震化については、国道や鉄道を跨ぐ跨道橋や跨線橋など23橋の耐震化を重点的に実施してきた。引き続き、上下水道やガスなどの添架管(ライフライン)や避難場所に近接している43橋について、計画的に耐震化を図る。 橋りょう長寿命化については、修繕計画に基づき、詳細設計や修繕工事を実施し、橋梁の延命化を図っていく。
6	道路バリアフリー推進事業		道路バリアフリー化の推進	市民、道路利用者	点字ブロックの整備 交差点の段差解消	計画どおり	-	H13		点字ブロックについては、中心市街地や郊外部の公共施設、福祉施設などの沿線を中心に整備を進め、その整備が概ね完了したことから、整備箇所の現況調査を実施した。今後は、調査結果に基づき、計画的な維持修繕を実施していく。 交差点部の段差解消については、福祉団体等へのヒアリングや既存歩道の調査結果に基づき、修繕計画を策定し、計画的に整備を推進していく。
7	生活道路整備事業		生活道路の整備	市民、道路利用者	道路改良整備	計画どおり	238,906	-		生活道路整備に対する市民のニーズは依然として高いことから、地域の交通事情や緊急性など、整備の必要性を見極めながら、引き続き事業を実施していく。また、通学路の安全対策が必要な路線については、国庫補助金の導入など財源確保に努め、事業を実施していく。 事業用地については、地域住民などの理解・協力を得ながら、用地確保に努めていく。
8	道路排水施設整備事業		道路の維持補修	市民、道路利用者	道路排水施設の整備	計画どおり	49,000	H15		道路冠水被害や通行の安全確保及び生活環境の向上を図るため、道路冠水被害の発生箇所について、地形や排水経路、既存施設の排水能力など現地調査を行い、被害の軽減対策を実施していく。
9	舗装新設改良事業	★	道路の維持補修	市民、道路利用者	路面の状況に応じた工法による、アスファルト等で舗装の修繕	計画どおり	10,271	H18		舗装道路の点検を行い、舗装の現況データを評価し、優先順位を定め道路の役割・機能に応じた維持修繕等を行っている。さらに、舗装道路の点検結果を基に修繕計画を策定し、計画的に維持修繕を行っている。
10	交通安全施設整備事業		交通安全施設の整備	市民、道路利用者	交通安全施設の整備	計画どおり	62,100	S45		交通安全施設については、これまで、交差点や事故多発箇所における安全対策として、積極的に整備を行っており、それら施設が、更新時期を迎えていることから、施設管理台帳及び現地調査により、施設の損傷度合いなどを確認し、計画的かつ効率的な維持修繕を実施していく。
11	ネットワーク型コンパクトシティ形成の推進(再掲)	○		市民、事業者等	長期的視点でのまちづくりの方向性を示す「ネットワーク型コンパクトシティ形成ビジョン」の作成と市民理解の促進	計画どおり	8,450	H20	独自性	平成26年度は、将来の都市構造イメージや都市形成の考え方等について平成25年度に整理した「ビジョン中間取りまとめ」を基に、学識経験者等からの支援を受けながら、実現に向けた具体的な施策事業や推進方針などをとりまとめ、「ビジョン」を完成させた。今後も引き続き、市民・事業者に向けて周知啓発や意見交換等を実施し、「ネットワーク型コンパクトシティ」に対する市民理解を深めていく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆震災により、災害に強い都市の基盤づくりの重要性が再認識されたところであり、災害時における人・物資等の輸送を支える交通機能、さらに地震などの災害時の一時的な避難路や火災の延焼防止の各種活動を支える空間機能など、多様な機能を担う幹線道路の整備については、引き続き都市の骨格となる道路網の形成に向け計画的に取り組む必要がある。 ◆高度経済成長期に集中的に整備された道路施設が今後急速に老朽化することが見込まれていることから、国において道路等のインフラの総点検に関する補助制度が創設されており、予防保全や劣化対策、耐震補強など適正な維持管理による安全の確保と、延命化に向けた取り組みを計画的に進めるとともに、より一層強化する必要がある。 ◆近年、集中的・局地的に発生するゲリラ豪雨により、道路冠水被害が頻発していることから、被害を把握し、状況に応じた浸水対策による交通機能の確保に取り組む必要がある。 ◆道路整備に係る財源は厳しい状況にあることから、計画的な整備に必要な特定財源を確実に確保していく必要がある。 	<p>方向性</p> <p>〈施策全般〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆社会資本整備に対する厳しい財政状況が見込まれる中、各事業の費用対効果や緊急性など、事業の優先度を考慮し、国からの財政支援を活用しながら事業を計画的に推進していく。 <p>〈主要事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆都市計画道路及び幹線市道整備事業については、ネットワーク型コンパクトシティの形成に向け、都市間の道路交通機能の充実や都市防災機能の向上を図るため、計画的に推進する。 ◆橋りょう維持修繕事業については、重要添架管(ライフライン)や避難場所に近接している橋梁などの耐震化を優先的に進めるとともに、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、事業を計画的に推進する。 <p>〈その他個別事業〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆舗装新設改良事業については、道路の点検・評価を行い、修繕計画を策定し、計画的に維持修繕を行っていく。